

各構成員の令和4年度の実施内容
令和5年度の実施予定について

令和5年2月

留萌川減災対策協議会

各構成員の取組項目

大項目	中項目	小項目	留萌開発建設部	北海道	留萌市	消防	地方气象台	自衛隊	北海道警察	JR
ハード対策の主な取組	■洪水を河川内で安全に流す対策	河道掘削（留萌市街地区、樽真布地区）	●							
		■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	●			●			
			洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	●				●		
			高齢者に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討			●				
急激な水位上昇に対する円滑かつ迅速な避難行動のための取り組み	■情報伝達、避難計画等に関する事項	水防拠点の整備、排水機場の耐水化（藤山地区、留萌市街地区）	●							
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫危険区域図に基づき、避難経路途絶前の下流域への避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを実施し、地域防災計画へ反映			●					
		道路管理者との連携による、高規格道路の活用も含めた避難経路及び、避難行動の遅れに備えた高規格道路沿道施設の活用の検討	●	●	●	●		●	●	
		タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上	●	●	●	●	●	●	●	●
		住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイ・タイムライン作成のサポートを充実させる	●	●	●					
		各地域における避難指示等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての市職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し			●					
		高齢者における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	●	●	●	●				●
		分かりやすい洪水予報伝文への改良	●				●			
	■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善					●			
		要配慮者利用施設における避難確保計画作成・訓練の実施	●	●	●					
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知			●					●
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまごまちごとハザードマップの作成と周知			●					
		小学生を中心とした留萌川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施	●	●	●	●	●	●	●	
		関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	●	●	●	●	●	●	●	●
社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取り組み	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	コミュニティFM放送やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実	●	●	●	●	●	●	●	
		毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	●	●	●	●	●	●	●	●
	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続実施	●	●	●	●	●	●	●	●
		迅速な水防活動を支援するため、中上流部における一時的な保管方法を検討の上、水防資機材を充実	●	●	●	●	●		●	
		的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る			●	●				
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項	自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	●	●	●			●			
社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み	■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み	浸水想定区域内の拠点施設(警察、病院等)に対し水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進			●	●				
		想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	●	●	●	●		●	●	
		訓練を通じ、排水ポンプ車等の災害車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	●	●	●	●		●		

留萌開發建設部取組内容

令和4年度の取組と令和5年度の取組予定について(留萌開建)

令和4年度の取組内容

○河道掘削を実施、○水防拠点の整備に向けた検討を実施、○避難経路の検討支援及び水防活動の拠点を検討、
 ○洪水予報発表訓練を実施(年7回)、流域タイムラインの作成、○管内の2校で防災教育を実施、○逃げなきゃコールの動画配信(振興局庁舎ロビー)、
 ○4月～10月にかけて毎月1回樋門操作訓練を実施、○水防連絡協議会等を通じ、最新の水防資機材確保状況、自衛隊等の災害派遣に要請に係る調整方法、災対車の出勤要請の必要事項を関係機関と情報共有

コミュニティFMの活用

コミュニティFM(エフエムもえる)の放送を活用し、水防意識の啓発を行った



ラジオ収録の状況

- 収録内容:
- ・過去の洪水について
 - ・災害から身を守るために必要な行動について
 - ・マイ・タイムラインの有効性について

重要水防箇所合同巡視

関係防災機関同士のコミュニケーションを図るとともに、重要水防箇所を確認し、危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラの説明を行った



簡易型河川監視カメラの説明



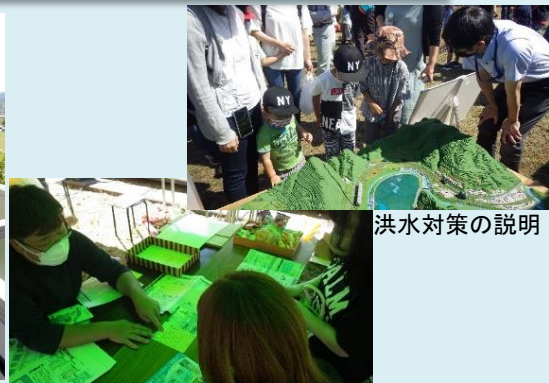
重要水防箇所の説明

るもい川まっりの活用

るもい川まつりを活用し、水防意識の啓発を行った



地下浸水装置の体験



洪水対策の説明

マイ・タイムラインの作成

令和5年度の取組予定

- 前年度に引き続き、河道掘削を実施
- 前年度に引き続き、水防訓練・研修会を実施
- 前年度に引き続き、管内の学校において防災教育を実施
- 前年度に引き続き、HPやエフエムもえる、等を活用し、水防意識の啓発を実施

留萌市取組内容

令和4年度の取組と令和5年度の取組予定について(留萌市)

令和4年度の取組内容

- 避難行動要支援者の名簿を作成し、関係機関に配布、個別避難計画作成に向け、対象者に対する同意確認を含む基礎調査を実施
- 浸水リスク地域における、ICの一角を含めた具体的な避難場所等の整備に向けての協議を実施、○浸水害に対応した留萌市タイムラインを策定
- 要配慮者利用施設において訓練未実施施設に対する訓練実施の働きかけ及び訓練のサポートを実施、○ポスター等で消防団の拡充推進
- 避難情報の改正に関する町内回覧(全戸回覧)、市広報誌への掲載を実施、○留萌開発建設部が主催する水防訓練・研修への参加、

防災訓練・教育の実施



留萌市土砂災害防災訓練 防災教育(潮静小学校一日防災学校)

洪水ハザードマップ、避難情報内容等の周知



転入者・来庁者向けハザードマップの配布



町内会向け防災講話の開催
(お茶の間トーク)

緊急割込み放送の訓練



訓練時の様子

留萌市からのお知らせ
エフエムもえるにおける
緊急割り込み放送訓練について

1 訓練実施日時 毎月末の水曜日
午前10時40分

2 下半期(10月～3月)の訓練予定日

実施予定日	
令和4年10月26日(水)	11月30日(水)
12月28日(水)	1月25日(水)
2月22日(水)	3月29日(水)

※実施日時が変更となる場合は、本ホームページに掲載いたします。
3 訓練の実施内容
エフエムもえるの放送室を会場とし、訓練を実施します。

4 その他
① 放送時間(放送終了)は事前にお知らせいたしますので、お持ちの車は可能な限り放送室の近辺に駐車をお願いします。
② 訓練の参加費は、4,000円です。
③ 参加費は、お持ちの車(車庫)が確保できること、お持ちの車は可能な限り放送室の近辺に駐車をお願いします。
④ 参加費は、お持ちの車(車庫)が確保できること、お持ちの車は可能な限り放送室の近辺に駐車をお願いします。

皆さまのご理解とご協力をお願いします。

留萌市開発建設部 総務課 危機管理課 56-5005 まで

訓練要綱

令和5年度の取組予定

- 基礎調査の結果を踏まえた個別避難計画作成方法の検討
- 新たな浸水想定等を踏まえたハザードマップの作成・周知
- 浸水リスク地域における避難場所等整備に関する説明会及びニーズ調査の実施
- 留萌市タイムラインの庁内共有、随時見直し
- 前年度に引き続き、留萌開発建設部が開催する訓練・研修に参加

その他構成員取組内容

令和4年度の取組と令和5年度の取組予定について(その他構成員)

■北海道

- ✓全道振興局防災係長会議により、災害派遣要請に係る調整方法を確認
- ✓令和4年度 留萌市防災会議で情報共有
- ✓地域防災力のより一層の向上を図るため、北海道地域防災マスターフォローアップ研修会を開催
- ✓留萌開発建設部が主催する訓練・研修に参加



北海道地域防災マスターフォローアップ研修
収録風景

■地方気象台

- ✓自治体職員を対象に、ZOOMを活用した気象解説を「あなたのまちの予報官TV」として週2回実施して気象状況の注意喚起を実施
- ✓土砂・洪水災害を想定したワークショップを自治体職員及び消防機関を対象に実施
- ✓キキクル(危険度分布)「黒」の新設と、「うす紫」と「濃い紫」の統合
- ✓大雨特別警報発表、警報への切替時の留萌川洪水予報(臨時)発表訓練



気象防災ワークショップ



あなたのまちの予報官TV

■消防

- ✓浸水想定区域内の拠点施設の位置及びハザードマップ等を確認し、避難場所などを確認
- ✓避難訓練で消防的観点から指導・助言、また、ハザードマップを活用し避難場所、避難経路の確認を実施
- ✓水防活動を迅速に行うため各種資機材の維持管理を徹底
- ✓消防庁舎へポスター掲示、消防主催のイベント等で水防団員募集案内資料の配布

■北海道警察

- ✓外国人に対し、また小学校の防災訓練にてに防災講話を実施
- ✓災害危険箇所の見直しを含めた災害警備計画の更新、職員への周知を実施
- ✓各交番、駐在所作成のミニ広報紙により、地域住民全体に広報を実施
- ✓各駐在に対し、管内避難場所や氾濫しやすい河川について教養を実施
- ✓留萌開発建設部、留萌振興局主催の洪水演習に参加

■自衛隊

- ✓自治体との連絡体制について確認するとともに、連絡幹部の差し出しを準備
- ✓各自治体等の作成した排水計画を確認
- ✓災害派遣資機材等の充実
- ✓留萌開発建設部が開催する訓練・研修への参加

■JR

- ✓駅の待合室にハザードマップを掲示
- ✓災害に対する列車運行基準及び警備方法の確認および関係社員への教育
- ✓各駅が位置する地域のハザードマップの社内周知